

平成 22 年度 第 1 回 特別史跡熊本城跡保存活用委員会

会議録（要旨）

- 1、日 時：平成 22 年 8 月 3 日（火）13：30～15：30
- 2、場 所：熊本市役所別館 駐輪場 8 階会議室
- 3、出席委員：（敬称略）13 名
小堀委員長、今村克彦、岩下直昭、岩永邦子、亀井創太郎、北野隆、北村直登、高瀬哲郎、
田中哲雄、富田紘一、服部英雄、松本寿三郎、吉丸良治
※欠席委員：伊東龍一、佐々木信文、山尾敏孝

4、審 議

【審議内容】：委員会の指摘・懸案事項に対する事務局提案

【事務局提案】

- 1、審議事項及び今後の進め方について
 - （1）保存管理計画の改訂について
 - （2）熊本城復元整備計画の改訂について
 - （3）計画策定部会の設置について
 - （4）活用部会の設置について
- 2、組織表と審議事項について
- 3、活用部会委員及び部会長選任
- 4、委員会運営要綱の改正
- 5、委員会の今後のスケジュールについて

【承認事項】

- ・提案 1～4 について → 了承
「委員会の組織表と審議事項及び委員名簿」 （資料 3-1、-2、-3）

【保留案件】

- ・提案 5 について → 継続審議
「保存管理計画の見直しに伴う今後のスケジュールについて」 → 今回提案

I、主な委員意見

○ 保存管理計画の見直しに関すること

- ・ 見直しは、昭和57年に策定した計画を基本として行わなければならない。
- ・ 保存管理計画改訂は、教育委員会が主体として取りまとめること。
- ・ 現在、事業が進行中のものは、現行の保存管理計画を基に、今後の見直しの可能性も踏まえて慎重に検討する必要がある。
- ・ 第Ⅱ期復元計画など現在事業が進んでいるので、早急に計画策定部会を立ち上げ、出きるだけ早く、保存管理計画の見直しを進めなければならない。
- ・ 現行保存管理計画が現状と相違が生じている部分について、具体的に事例を示しながら見直しを進めた方がよい。

- ☐ 現状と相違ある部分が出てきているのはどこか。
- ☐ どのような点で相違が生じているのか。
- ☐ 相違が生じている部分は元にもとめるのか。
- ☐ 相違をどのように考えていくのか。
- ☐ 新たな課題はどのようなものか。

Ⅱ、委員長まとめ

- ・ 保存管理計画の見直しは早急に行うべきであるということは、委員の総意である。
- ・ 計画策定準備部会を早急に設置し、早い時期に計画策定部会を発足させ、保存管理計画の見直しが出きるよう、次回の委員会までにスケジュール等を修正し報告すること。